

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



(1500円) 実用新案登録願

昭和46年3月3日

特許庁長官 佐々木 宇蔵

1. ジョウキヤクワン ヨウ

1. 考案の名称 乗客運ばん用コンベヤーベルト

2. 考案者

コマキシ フジシマ タカハタ

住所 愛知県小牧市大字高士島字高畑 35の14b

イワ タ トミ ユキ

氏名 岩 出 富 行

3. 実用新案登録出願人

コマキシ キタトヤマ ウタズ

住所 愛知県小牧市大字北外山字哥津 3600

トウカイ コウギヨウ

名称 東海ゴム工業株式会社

カワムラ ミノル

代表者 河 村 敏

4. 添付書類目録

(1) 明細書 1通

(2) 図面 1通

(3) 願書副本 1通

明 細 書

1. 考案の名称 乗客連はん用コンベヤーベルト 中物用

2. 実用新案登録請求の範囲

巾方向に細長の孔  $a1$   $a2$ -----及び  $b1$   $b2$ ----を  $a1$   $a2$ -----と  $b1$   $b2$ -----を長手方向に対して一列ごとに交互に孔の位置をかえて多数設けた網版 3.

4. を細長の孔  $a1$   $a2$ -----がベルト長手方向に対して直角方向の角度をなす様コンベヤーベルトの抗張層 5 の上、下に隔離してゴム弾性体 2 中に配置したことを特徴とする乗客連はん用コンベヤーベルト

3. 考案の詳細な説明

この考案は、乗客連はん用コンベヤーベルトを改良したものである。

乗客連はん用に用いられるベルトは乗心地及び安定性のためベルト巾方向の剛性が強くベルトのブーリー部での屈曲半径を小さくするため

ベルト長手方向に柔軟性があることを考慮しなくてはならない。

従来かゝるベルトとして、汎用機の下に並列コードをベルトの長手方向に対して直角方向をなす方向に配置した乗客運搬用ベルトが考案されている（実公昭42-22904号）

かゝるベルトは、巾方向の剛性が大きく長手方向の伸縮があるが、並列コード層をベルトの表面部に凹凸感を与えない様、配置することが困難な上、ベルト表面を完全に平滑にすることが出来ず、乗客に対して満足した足場を提供することが出来なかつた。

この考案は、ベルト表面に凹凸感を感じさせることなく、ベルト巾方向の剛性が大きく、又ベルト長手方向の伸びの大きな乗客運搬用コンベヤベルトを提供することを目的とするものである。

この目的を達成するためこの考案は図に示す様に巾方向に細長の孔  $a_1$   $a_2$ -----及び  $b_1$   $b_2$  を  $a_1$   $a_2$  を長手方向に対して一列ごとに交互に孔

の位置をかえて、多数切抜いた鋼板 3、4 をコンベヤーベルト 1 の抗張側 5 の上、下に重ねてゴム弾性体 2 中に配置したものである。

切抜孔の形状は長方形、三角形のいずれでも巾方向に細長のものであればよく鋼板 3 又は 4 の長手方向の伸縮度に応じて巾方向の数を任意に選択し打ち抜くとよい。

第 3 図の実施物は第 2 図の鋼板 3 を長手方向に引張つて伸びた状態を示したものである。

上述の構成であるので、この考案のコンベヤーベルトにて乗客を運搬するには、コンベヤーベルト 1 の駆動は抗張側 5 がその役目を果たし鋼板 3、4 は乗客がこのコンベヤーベルトに乗った際、鋼板 3、4 は巾方向の伸びが全くなく鋼板 3、4 間は剛性が非常に高くなり、且乗客に凹凸感を感じさせることがなく安定した足場にて運搬することが出来る。

又ベルト駆動用のプーリー部又はテフシヨンプーリー部では鋼板 3、4 が長手方向に伸縮自在で、プーリー部によくなじみ屈曲半径が小さ

く出来る特徴がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、この考案によるコンベヤーベルトで2層の網板を配置した断面図、第2図は第1図に配置した網板の拡大正面図、第3図は第2図の網板を長手方向に伸ばした状態を示す部分正面図で、1はコンベヤーベルト、2はゴム弾性体、3、4は網板、a1 a2-----、b1 b2----は網板3、4に切代いた切抜孔、5は抗張線である。

実用新案登録出願人

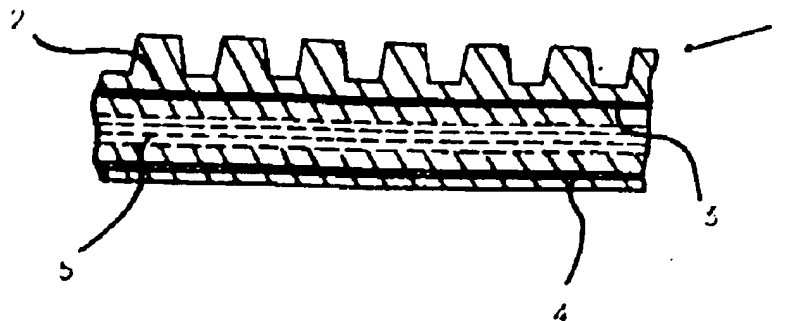
東海工業株式会社

代表者 河村 稔

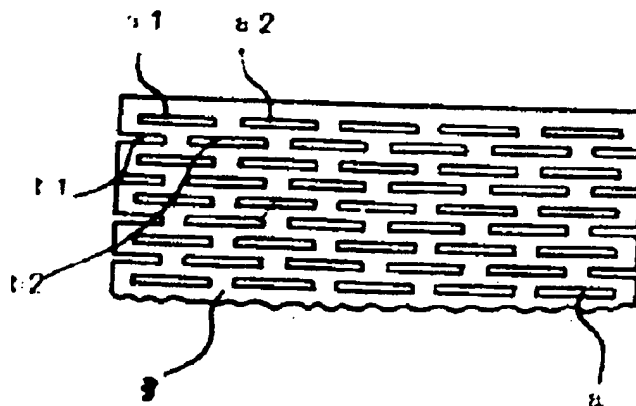


公開実用 昭和 47- 10288

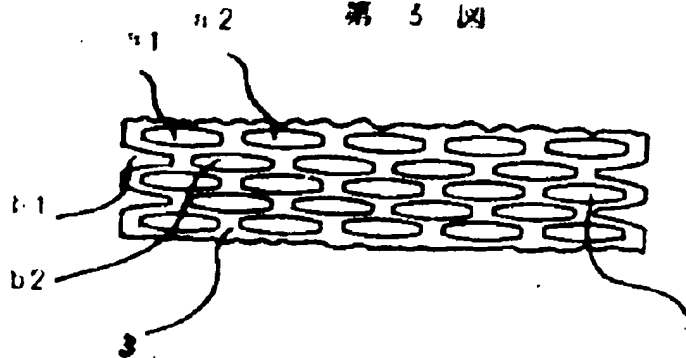
第 1 図



第 2 図



第 3 図



出願人 東京新電機工業株式会社

47-10288-06